

校長閑話

本校、職員玄関の下駄箱上に右記の作品を展示しています。この作品は私の家にあったものですが、この度の生徒会スローガンである「素直な心、広がる笑顔、優しい言葉づかい ～目指そう～より良い七中を～」に触発され持参をし、置かせていただきました。



交友須帯三分俠氣作人要在一点素心

友に交わるには須（すべか）らく三分の俠氣を帯びるべし 人と成るには一点の素心の在するを要す

＊俠氣とは、弱い者を助け正義を行おうとする心。素心とは、いつわりのない心。かざらない心。

この言葉は、今から400年位前の中国の思想家である洪自誠（こうじせい）の著作「菜根譚」（さいこんたん）の中に出てくる言葉だそうです。

解説にはこう書かれています。

友だちとしてつきあうときは、正義を貫き、弱い者を助ける心をもっていなければならない。そして、人間らしく生きるためには、いつわりのない心、かざらない心が必要である。（大辞林より）

本校を訪ねる際には、ぜひご覧ください。

5月を振り返って

校内に咲き始めた紫陽花に梅雨の訪れが近いことを感じるこの頃です。生徒たちにとって校外で活動する場面が多いのが5月です。2学年の校外学習、3学年の修学旅行そして市内総体。私にとって、生徒とともにバスを利用して校外へ向かうのは8年振りのことでした。どの学年も準備は万全。素晴らしい体験活動となりました。2学年の校外学習では「そなエリア」にて防災体験をしましたが、見事に再現された災害現場のセットには驚きとともに身の引き締まる思いでした。そこで何が自分ではできるのかを改めて考えさせられる場でもありました。

また、3学年の修学旅行では歴史探訪とともに自然に触れられる体験活動の2本立てでした。福島県の奥深さをしっかりと学べた3日間でした。2年生、3年生とともに充実した校外活動となったようです。そして、市内総体は今年度初めての公式戦であり、日頃の練習成果を発揮できるまたとないチャンスでした。一部6月開催の部活動もありますが、7月の東総地区の総体に向けた課題を見出せた機会となったようです。頑張れ七中！



インドはい〜んど！？②

インドの代表的な食べ物はカレーです。最近では町の至る所でインドレストランを目にするようになり、インド式のカレーを食べることは容易となりました。さて質問の定番として「インドの人たちは毎日3食（朝昼晩）カレーを食べていますか？」と聞かれます。答えは Yes でもあり No でもあります。インドで手に入らない食材はありません。ですから、カレー以外にも食卓には並びます。私がいた当時はファストフード店が多く作られ、ハンバーガーやフライドチキン、ピザの宅配もありました。しかし、残念ながら宗教上の理由でハンバーガーの肉は牛肉ではなくマトンでした。ちなみに私は毎日、日本食を食べていましたが、唯一の贅沢はインドで日本のカレーライスを食べることでした。（つづく）



